

読売新聞に、医療法人南労会(紀和病院)のグループ法人
社会福祉法人 紀和福祉会「やまぼうし」が取り上げられました。

2016年12月30日付

THE YOMIURI SHIMBUN

読売新聞

2016年(平成28年)

12月30日 金曜日

入所者情報一括管理
介護老人施設が完成

かつらぎ

社会福祉法人「紀和福祉会」は来年1月4日、かつらぎ町丁ノ町に介護老人福祉施設「やまぼうし」を開設する。入所者の個人情報コンピューターで一括管理するのが大きな特色で、県内の福祉施設では珍しいという。

紀和病院(橋本市)などを運営する医療法人「南労会」が中核となり、昨年7月に紀和福祉会を設立。鉄骨3階建て延べ約4500平方メートルの施設を建設した。特別養護老人施設として100床、短期入所生活介護施設として10床があり、全室が個室。

入所者の病院での受診や投薬などに関する個人情報職員らがタブレット端末



完成した介護老人福祉施設「やまぼうし」(かつらぎ町で)

で把握でき、個別ケアに迅速に取り組めるという。入所の対象は、介護を常時必要とし、自宅での生活が困難な人。

同福祉会の若杉正樹理事長(63)は「医療法人グループであることを生かし、地域の介護や医療を前進させるために貢献したい」と話している。

問い合わせは、やまぼうし(0736・22・2020)へ。